

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	17-2	事業名	青少年健全育成費 うち(イ)青少年地域連携非行防止対策事業及び(ウ)青少年をめぐる環境整備のための緊急対策事業
------	------	-----	--

1 基本情報

実施日／班名	10月16日 第1班	時間	11:21～12:32
担当課名	教育委員会 社会教育課	事業費	3,482千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)				
県実施 (一部見直し)	判定区分別	行政関与不要	0			
		行政関与必要	⑳	国・市町実施	3	
			県実施	⑰	抜本見直し	2
					一部見直し	⑭
					現行・拡充	1
	判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)				
		・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき			8	
		・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき			8	
		・事業の効率化を図りコストを縮減すべき			2	
		・他の事業との関係を整理すべき			2	

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p><国・市町実施></p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットはかなりの枚数がある。中学入学のとき、自治会の回覧にも入っていた。その費用の分、夜のパトロールの増加などやるべきことはあるのではないかと。県でなく、市町で考えるべき。 <p><県実施(抜本見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年同じリーフレットを配布しても、どれだけ成果があるか疑問。家庭配布物の多さは驚くばかりである。一方、読んでもらいたい家庭は読んでいない。 基本的な水準に保つには、市町の部署で行えばよい。 冊子、リーフレットの作成は市町と連携して、県が直接製作する必要は感じない。 文字数が多く、ポイントが多すぎて家庭で読みきれない。情報量が多いと理解しづらい。 県の言いたいことを押し付けるのではなく、現場の声を。 <p><県実施(一部見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県がやるべき事業((ウ)事業、(イ)冊子の作成など)を積極的にやって欲しいが、市町で出来ることは任せるべき。 県は一定水準以上に青少年が健全に生活できるよう、全県的にやらなければならないことを実施すべき。 (ウ)に関してもう少し予算を投入して、啓発活動や今後の県としての育成方針、対策に力を入れて欲しい。 リーフレット配布について、市町の現実に即して地域の実情に併せて考えられているのか、評価しづらい。

- ・パンフレットを見てのアンケートなどで、意識評価や実際の非行状況を毎年の判定項目としてはどうか。
- ・地域差を考慮し、市町での対策を県が見直し、対策方法も今までの有用性も含め見直してはどうか。
- ・しっかりとPDCAを回す。マーケティングを行い、現場の意見を反映して欲しい。
- ・国や市町との連携をとることが県の主な役割ではないか。
- ・効果的なパンフレットを作成し、効果的に配布して欲しい。子供の目を引き、保護者がツールとして使えるように。また、携帯電話やスマートフォンを使って啓発活動してもよいのでは。
- ・パンフレットはなかなか読んでもらうには大変な時代だと思う。工夫が必要。
- ・家庭、学校、地域が三位一体となってやらなければ、健全な青少年を育成することはできないと思う。パンフレットよりもDVD等で見てもわかりやすい物を媒体にして、周知の機会を増やすべき。
- ・リーフレット等はどれだけ読まれているか。作ってあればやっていると勘違いが生まれていないか。
- ・読まない人の子供をどうするのかを考えて欲しい。
- ・ゲームソフトやDVDのようなものを作って、視覚効果を使った方法がいいのではないか。
- ・青少年健全育成ということは、非常に幅広い問題で、学校で配られ、パンフレットで子供たちも知ることは多いと思う。今後もこのようなリーフレット、パンフレットは必要だと思う。
- ・パンフレットを作成し、配布するのみでは、非行防止や環境整備は難しいと思う。雑誌に掲載したり、携帯会社と協力するなど、効果の高い方法を探すべき。
- ・学校、子供、保護者への呼びかけはもちろんですが、他の大人達への意識付けが必要。全体で子供たちを守っていける県を目指して欲しい。
- ・携帯電話の使い方を規制するのは至難の業だと思う。売る側にもある程度、責任や規制をかける必要がある。

<県実施(現行・拡充)>

- ・地道な問題であり、継続してやっていかなければならないと思う。
- ・社会の問題が多く関わっているので、簡単には解決できないと思う。
- ・若い世代の育成は、国の力の育成であることを根本に考え、広く業種ともかかわりを持ち進んでいくことが必要です。特に大人の育成も必要です。逆に青少年団体についても、ケータイ、スマホを使っての啓発活動があればいいと思います(健全育成は現場が大事です)。